



世界遺産のبرانバナナ寺院

夏にお越しいただく「ゆう会」グループの皆様。バリではパンチャサリ村の学校訪問、野菜の栽培ご指導、ゴルフプレイなどを楽しまれ、とても行動的な方々です。そして、今回もバリから隣島のジョグジャカルタの街を訪問されました。



王宮博物館にて

ジョグジャカルタの魅力

飛行機でわずか1時間飛ぶだけで、そこは宗教や文化の全く違う場所。オランダ占領時代の植民地文化を今に留めるエキゾチックな建造物も市内にはたくさんあります。大学を含め200校以上の学校が集中する、インドネシア随一の学芸の街でもあります。



天井が煌びやかで目を引きま

街の王宮博物館では・・・

ジョグジャカルタの王様であるハメンヴォノ10世が現在も州知事として統治し、その王宮構内には博物館があります。タイムスリップしたように守衛や侍女達が昔ながらの民族衣装で歩き回っています。ゆう会の皆様も博物館を見学。ガイド役の女性の話にしっかり耳を傾けていました。

バリの世界遺産 棚田の風景

今回は稲の収穫次期でしたが、2ヶ月も経つと、すっかり様変わりです。収穫後の田んぼにはまた水が引かれ、今年2回目の田植えが行われようとしています。四季と常夏の気候の違いが、こんなところで伺えます。ウブドの棚田よりもはるかにスケールが大きく、ローカルなレストランで休憩しながら、雄大な風景が楽しめます。



水利システム(水の分配)が評価され、2012年にバリ島で初めて世界文化遺産に登録された棚田地帯。ケアリツトバリから車で1時間少々。



これで渋滞解消、立体交差路

バリ島初の立体交差路が完成！

いつも交通渋滞がひどかった空港からの通り道(デンパサールのデューティーフリーショップ前の道路)の工事がようやく終了。待ちに待った立体交差路が完成しました。車の流れが良くなり、以前より格段スムーズに通れるようになりました。